

# The Ikuvei News

鳥取育英高新聞  
NO881  
(責任者 亀本梨央)  
鳥取県東伯郡北栄町由良宿  
TEL (0858) 37-3211  
2015年6月12日発行

全日本ユースポルダリング

## 河上くん3位 貞さん6位

5月16・17日、クライミングの「全日本ユース選手権ポルダリング競技大会」が、倉吉体育文化会館を会場に開催された。この大会は、鳥取県山岳協会創立50周年を記念した事業の一つであり、2015年度ユース日本代表選考大会も兼ねた大会でもある。育英山岳部からは、男子ユースBで河上紘輝くん(1B)が3位、女子ユースAで古川日南子さん(1A)が6位に入賞した。

- 【男子】
- ◆予選
    - ▽ジュニア
      - 8位 安本海斗
      - 35位 松井堅
    - ▽ユースA
      - 29位 石橋貴由紀
    - ▽ユースB
      - 3位 河上紘輝
  - ◆決勝
    - ▽ユースB
      - 3位 河上紘輝

- 【女子】
- ◆予選
    - ▽ユースA
      - 5位 古川日南子
      - 7位 高田こころ
      - 20位 西田遥流
  - ◆決勝
    - ▽ユースA
      - 6位 古川日南子



### 国体優勝が目標



河上紘輝くん (1B)

1位が目標だったんですけど、地元の鳥取開催の全日本ユースで3位に入賞できて、うれしいです。でも、試合中ゴールまでの行き方をなかなか見つけることができなくて、とても苦戦しました。また、ライバルたちがどんどん強くなってきているなど、今回の大会を通して感じることができま

◀決勝2課題目の河上くんの登り

梅雨に入り、だんだんと夏に近づいてきたこの頃。むしむしとして、無性に冷たくて甘いものが食べたくなる人もいると思う。そこで、北栄町の特産品をいかした、おいしくて変わったソフトクリームを売っているお店を取材した。これを参考にして、一度食べに行ってみてはどうだろうか。

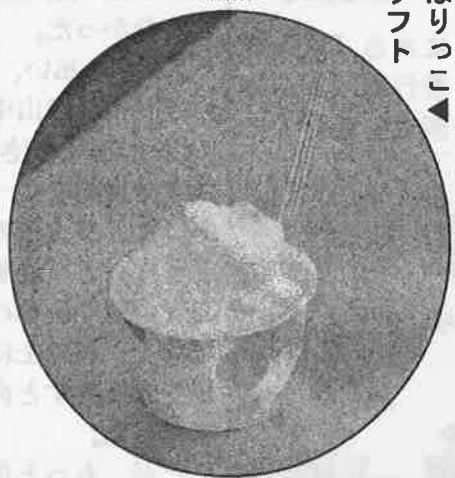
★ねばりっこソフト  
ねばりっこソフトは、道の駅北条公園にある「ねばりっ娘」で売られている。「ねばりっこ」は、長いもの一品種である。6年前にお店がリニューアルオープンした時、珍しいものでソフトを作ろうと思い、北栄町の特産物である「ねばりっこ」でソフトをつくってみたところ、とてもおいしかったから、作り始めたそうだ。ゴールデンウィークなどの大型連休には、一日100個売れるらしい。

「ねばりっこソフトは、とってもおいしいので、食べたことのない人もある人もぜひ食べに来てください。来てくれたら、クリームおおめにサービスしちゃうよ!」と、お店の方はおっしゃっていた。値段は400円と少し高いが、



▶スイカソフト

スイカ味にねばりっこ味?!  
北栄町のこ当地ソフト



ねばりっこソフト

ソフトをカップに入れてもらうと、量がとてつもなく多い。また、スプーンでかき混ぜると、とてもよく粘る。確かに長いものが入っているだけはある。味は、濃厚なバニラの味で、長いもの味はあまりしないが、ソフトを食べている時に、シャリシャリした食感が楽しめる。

★スイカソフト  
スイカソフトは、道の駅大栄内の「RESTinだいば」で250円で売られている、スイカの味のソフトだ。北栄町の特産物のスイカでソフトクリームを作りたいということで、販売を始めたそうだ。

「多いときで、30~40個売れます。やっぱり夏が一番売れ行きがいいですね。ただ正直、スイカソフトよりバニラのほうがよく売れます。北栄町の特産物であるスイカをモチーフに作ったソフトなので、一度は食べに来てほしいです」と話しておられた。お話をうかがった後、スイカソフトを食べてみた。メロンのような味がした。食感は、ノーマルなソフトとあまり変わらなかったが、甘さ控えめでとても食べやすく、おいしかった。

した。  
今、大会で感じた課題を克服するために、筋トレをすること、持久力をつけることを行っています。また、ゴールへの道順の見極めができるように、日頃の練習を頑張っています。

次の目標は、中国ブロックを突破して、秋に和歌山で開催される「わかやま国体」で優勝することです。

### 短信

鍛本くんが佳作に  
デッサンコンクール  
5月31日~6月1日に、本校を会場に「第18回デッサンコンクール」が開催され、県内の美術部員56人がデッサンの腕を競った。本校美術部の鍛本雄大くん(3C)が佳作に入賞した。

# 三徳山・三朝温泉が日本遺産に

## 六根清浄と六感治癒の地

▼“日本一危険な国宝”投入堂

4月21日、三朝町の「三徳山（みとくさん）」と「三朝温泉」が、「六根清浄（ろっこんしょうじょう）と六感治癒（ろっかんちゆ）の地」として日本遺産に登録された。これは、「六根（目、耳、鼻、舌、身、意）」を清め、「六感（視、聴、香、味、触、心）」を癒す場所という意味のようだ。日本遺産とは、厳しい保全体制と普遍的な価値の説明が求められる世界遺産とは異なり、観光資源の掘り起こしや地域活性化などを狙いとして新たに創設されたものである。今回、初となる日本遺産に、全国で18件が認定されたが、三徳山と三朝温泉はその一つとなった。5月22日、保護者参観日の振り返り休日になった金曜日を利用して、新聞部は三徳山と三朝温泉に取材に行った。

### 三徳山 危険スポット続出!

三徳山三仏寺（さんぶつじ）にある「投入堂（なげいれどう）」といえ、役行者（えんのぎょうじゃ）が法力で、お堂を断崖絶壁の上に



▲岩の上に建てられた文殊堂、手すりがない!

ある岩窟に投げ入れたという伝説が残る、「日本一危険な国宝」だ。今まで写真でしか見たことなかった「投入堂」。正直どんなに危険か、わかっていなかった。

入山料を払い、受付で靴底のチェックを受けて、いざ登山。登山中、ほぼ垂直のような急斜面を木の根や土から突き出た岩を頼りに登るような所や、巨大な岩場を鎖一本で登らなければならない所もあった。登山道の途中には、「文殊堂（もんじゅどう）」と「地藏堂（じぞうどう）」があった。お堂の周りを歩けるようになっているが、手すりがなく、岩の上に建てられているため、一步でも足を踏み外すと命を失ってしまうような危険な場所だった。

だが、もっと危険だったのは「投入堂」を見る場所だ。てっきり、平らな所で観賞できると思っていたが、実際は急な斜面だった。そこから見る「投入堂」は、今にも落ちてしまいそうな印象を受けた。

### 三朝温泉 疲れがいやされる～

三徳山でくたくたになった身体を癒すために、

三朝温泉で無料の足湯に入った。平日の金曜日にも関わらず、2・3人の観光客が楽しそうに足を浸かっていた。足湯の温度は思っていたよりは低く、ちょうどよかった。三朝温泉のお湯は、高濃度のラドンを含む世界屈指の放射能泉であるらしい。

ちなみにラドンは、ラジウム元素から放出される気体である。これを身体に浴びると新陳代謝が活発になり、免疫力や自然治癒力が高まるそうだ。また、三朝温泉には3か所足湯があるが、今回新聞部が訪れた「薬師の湯」は、病気を治してくださいという仏様「お薬師さん」がまつられているお堂の隣にある。そんな場所だからか、特に身体の疲れが癒される気がした。厳しい登山の後の足湯は、なんともいえない心地よさがあり、思わず眠りこけてしまいそうになった。

### まとめ 地元の魅力を知ろう

三朝町だけでもこんなにたくさん魅力的な場所があるとは思わなかった。それなら、コナンで有名な北栄町には、どれだけそんな場所があるのだろうか。今年度から2年生中心に始まった「地域



▲無料で入れる足湯「薬師の湯」

温泉街の端っこに店を構える「松之屋」は、昭和22年には昭和天皇にお菓子を献上したという、知る人ぞ知る老舗だ。そこで人気のとち餅を食べてみた。もともと取材をする予定だったが、お店の方が忙しそうだったので、お話をうかがえなかった。とち餅は、もち米と栃（とち）の実（トチノキの実）を蒸して、ついて餅にし、アンコを包んだお菓子である。「松之屋」のとち餅は、餅が少しほろ苦く、アンコはほろ苦さをカバーするような甘さがあった。甘いものが苦手な人でも食べられるようなお餅だった。

▲午前中に売り切れることも多い松之屋の「とち餅」



名物とち餅を買っならんぞ!  
三朝温泉の老舗「松之屋」

探求」の活動。急に「地域を盛り上げるアイデアを」と言われ困っている人もいると思う。まず自分たちが住んでいる地域のいろいろな場所に行き、その魅力を知ろう。そこで何かいいヒントが得られるかもしれない。そのヒントが地域の活性化につながってほしいと思う。